

財團協調會福岡出張所

の内情は果して如何なりや、曰く農村の頹廢、都市勤勞者の生活窮乏、而して思想界の混亂と秕政の百出とは遂に階級闘争を激化せしめ、我國三十年の美風は今や全く地を拂ふに至れり。如斯は實に歴代内閣が黨利と黨略に耽り、徒らに金權に娯びて國家國民を忘れ獨り我慾を貪りし結果にして、我等の斷じて許すべからざる所なり。

然も本年の農村の現狀たるや、繭價の暴落と稻作の大凶作とは文字通り農民をして餓死線下に陥れ、その破滅は目前に迫り、内憂外患、共に其の極に達せるを知る時、我等は非國家的財閥を打倒し、既成政黨を粉碎し昭和維新の斷行により眞の日本本然の姿たる一君萬民主義による昭和新日本の建設を誓ふものである。

右
宣
言
す

財團協調會福岡出張所

昭和九年十月十五日

日本農民組合暨前聯合會秋季大會